

磐田市

桶ヶ谷沼 ビジターセンター

第180号 2019年5月15日

だより



開館時間: 午前9時～午後5時 (月曜日 休館)

住所: 〒438-0016 磐田市岩井 315 番地

電話: 0538-39-3022 FAX: 0538-39-3023



*** ベッコウトンボ調査会を行いました ***



4月21日(日)と29日(月)にベッコウトンボ調査会を行いました。今まで30年間続けてきた調査です。21日の調査会には、一般参加者に加え「おけがや自然塾^{しぜんじゅく}」の塾生や磐田ユネスコ協会^{ほしゅう}で募集した中学生ボランティアなど193人が参加しました。

6グループに分かれて沼周辺^{いっせい}を一斉に調査したところ、21日には63頭、29日には102頭のベッコウトンボ^{けんめい}が確認できました。羽音をたてながら懸命に空中で交尾する姿も見られました。沼周辺では、ヨツボシトンボやシオカラトンボなども飛びはじめています。



成熟したベッコウトンボ ^{おす}♂



シオカラトンボ(上が^{めす}♀・下が^{おす}♂)

＊ 万葉集に詠まれた植物

新元号「令和」の発表から、万葉集が改めて注目を集めるようになりました。4,500首の歌のうち3分の1が何らかの植物を詠んでいて、最も多く登場する花は「萩」「梅」だそうです。自然の中を歩きながら、万葉の昔に詠まれた植物を探すのも楽しいですね。



カキツバタ

「かきつはた 衣に摺りつけ ますらをの
着そひ狩する 月は来にけり」(大伴家持 卷十七-3921)

歌意：かきつばたを着物に擦りつけ、宮人たちが着重ねて薬狩のお供をする4月になりました。

5月5日には、宮中の行事として天皇は文武百官を従え、皆盛装して薬草狩りをするのが恒例でした。

カキツバタは中部地方以北の水湿地に自生する多年草で、花茎の先に大型の紫色の花をつけます。桶ヶ谷沼では、外来種のキショウブの勢いに押されてずいぶん少なくなっていました。



フジ

「藤波の 花は盛りに なりにけり
奈良の都を 思ほすや君」(大伴四綱 卷三-330)

歌意：藤の花が今まっ盛りです。奈良の都でも、ちょうど今を盛りに咲いています。私はそれを見て来ました。今、あなたは栄えに栄える故郷奈良をお思い出しにはなりませんか。

この歌は、防人司の次官として大宰府(福岡県)へ赴任してきた作者が、今まで自分が住んでいた都を思い出しながら大宰府の藤を見て、大宰府長官の大伴旅人に問いかけるかたちで詠んだものです。

【出典：万葉植物事典～万葉植物を読む(北隆館)】

自然とのふれ合いを

※参加は無料です

申し込みはビジターセンターへ

アメリカザリガニ調査会

- * 日程 6月16日(日)9:30~11:30(受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷沼周辺
- * 対象 一般(小学生以下は保護者同伴で)
- * 内容 桶ヶ谷沼で大発生しているアメリカザリガニはどんな生活をしているのか説明を聞いた後、桶ヶ谷沼に行ってアメリカザリガニを観察します
- * 服装・持ち物 帽子、野外活動ができる服装、水筒、メモ用紙など

魚類観察会

- * 日程 7月7日(日)10:00~12:00(受付9:00~)
- * 場所 桶ヶ谷川(桶ヶ谷沼ビジターセンターに集合)
- * 対象 一般(小学生以下は保護者同伴で)
- * 内容 桶ヶ谷沼と桶ヶ谷川にすむ魚類の説明を聞いた後、桶ヶ谷川で魚類を採取・観察します
- * 服装・持ち物 帽子、汚れてもよい野外活動ができる服装、長靴、メモ用紙、水筒など